

民謡 × シマ唄

ジャンルの枠を飛び越え、「オリジナル×民謡」「名曲×方言」「伝統×最先端」などの
新境地を開拓している民謡日本一の山形娘、朝倉さや。

“地上で最も優しい歌声”と称される奄美民謡(シマ唄)の中孝介。

民謡をルーツに持つ二人が奇跡の共演。

あさ くら
朝倉さや

1992年生まれ。山形県出身。民謡日本一に2度輝き、18歳で上京。音楽プロデューサーsolayaと出会い、動画サイト上で名曲を民謡調や山形弁にアレンジして歌唱、話題に。

2013年、自身の作詞・作曲による「東京」でデビュー。CM出演10本以上、You Tube再生回数1800万回突破、レギュラー番組の視聴率・占拠率1位、iTunes・Amazon・オリコンなど各種ランキングで1位を記録。

2015年には日本レコード大賞企画賞、CDショップ大賞東北ブロック賞を受賞するなど快挙を成し遂げている。

2017年6～7月 NHKみんなのうた「そのままの笑顔でいて」放送。

2018年は全国8箇所をまわる全国ツアーを成功させる。

2019年は前年を遥かに上回る、全国11箇所、北海道から鹿児島まで、大規模なツアーを予定しており、著名なアーティストのツアーへの参加も果たしている。

あたり こう すけ
中孝介

鹿児島県奄美大島出身、在住。高校生の頃、独学でシマ唄を始める。

2006年メジャーデビュー。

2007年「花」をリリースし世代を超えた大ヒットになる。

2008年台湾歴代興行収入を塗り替える大ヒットとなった映画『海角七号』に本人役として出演。

2016年にデビュー10周年を迎え、初のベストアルバム「THE BEST OF KOUSUKE ATARI」をリリース。

2017年から元ちとせさんとのユニット“お中元”で各地でコンサートを開催し、2018年は初のシンガポール公演、日本でもコンサートツアーを実施。

中国本土で自身最大の10都市で単独コンサートを開催。その声は、「地上で、もっとも優しい歌声」と称され、日本国内だけでなく、中国～アジア全域でも活動の幅を広げている。



宝くじの収益金は

学校、図書館等の教育施設をはじめ、
公園、社会福祉施設等の建設改修な
ど、皆様の日常生活に役立つように
使われています。